

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Vaccine.	Efficacy of a novel oral carbapenem, tebipenem pivoxil (TBM-PI), against experimental otitis media caused by penicillin resistant streptococcus pneumoniae in chinchilla.	Hotomi M et	耳鼻咽喉科
Eur J Pediatr.	Determination of Pneumococcal Serotypes/ Genotypes in Nasopharyngeal Secretions of Otitis Media children by Multiplex Polymerase chain reaction.	Billal DS. et	"
J Antimicrob Chemother	In vitro induction and selection of fluoroquinolone-resistant mutants of Streptococcus pyogenes strains with multiple emm types.	Billal DS et	"
Int J Pediatr Otorhinolaryngol.	Rapid identification of nontypeable and serotype b Haemophilus influenzae from nasopharyngeal secretions by the multiplex PCR.	Billal DS et	"
Otolaryngol Head Neck Surg.	Comprehensive loss of heterozygosity analysis and identification of a novel hotspot at 3p21 in salivary gland neoplasms.	Honjo N et	"
Oral Oncol.	Fine deletion mapping of chromosome 2q21-37 shows three preferentially deleted regions in oral cancer.	Cengiz B et	"
Allergy	Identification and characterization of native Cry j 3 from Japanese cedar (Cryptomeria japonica) pollen.	Fujimura T et	"
Jpn J Antibiot	Efficacy and safety of potassium clavulanate/amoxicillin (CLAVAMOX) dry syrup in children with otitis media.	Sugita R et	"
耳鼻咽喉科 免疫アレルギー	掌蹠膿疱症における血清SCCの解析.	林 正樹 他	"

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること（当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る）。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
耳鼻咽喉科 臨床	Auricular Helix Free Flapによる外鼻再建例	酒井章博 他	耳鼻咽喉科

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること（当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る）。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Fertility & Sterility 87(1) : 178-181, 2007	Increased type III and V collagen expression in human corpora lutea in early pregnancy	Iwahashi M, Muragaki Y, Ooshima A, Umesaki N	産科婦人科
Anticancer Research 27 : 2721-2728, 2007	Neoadjuvant Chemotherapy with irinotecan and mitomycin-C for locally advanced squamous cell carcinoma of the uterine cervix.	Kokawa K, Nishimura R, Fujii T, Umesaki N	産科婦人科
International Journal of Gynecological Cancer 17(1) : 159-163, 2007	Phase II study of irinotecan plus doxorubicin for early recurrent or platinum-refractory ovarian cancer : interim analysis.	Nishimura S, Tsuda H, Hashiguchi Y, Kokawa K, Nishimura R, Ishiko O, Kamiura S, Hasegawa K, Umesaki N	産科婦人科
European Journal of Gynaecological Oncology 28 : 273-277, 2007	Irradiation reduces bleomycin sensitivity in cervical squamous cancer cells <i>in vitro</i> .	Tanaka T, Yukawa K, Umesaki N	産科婦人科
European Journal of Gynaecological Oncology 28 : 352-355, 2007	Radiation reduces carboplatin sensitivity and enhances nedaplatin sensitivity in cervical squamous carcinoma cells <i>in vitro</i> .	Tanaka T, Yukawa K, Umesaki N	産科婦人科
産婦人科の進歩 59(2) : 89-91, 2007	近畿地区における若年者子宮頸癌の現状と治療 -腫瘍研究部会アンケート調査より-	粉川克司、梅咲直彦	産科婦人科
産婦人科の進歩 59(2) : 115-119, 2007	当科における若年 (35歳未満) の子宮頸癌症例の検討 -予後不良症例2例を中心に-	田中和東、粉川克司、 南佐和子、岩橋正明、 宇都宮智子、 八木重孝、帽子英二、 池島美和、田中哲二、 梅咲直彦	産科婦人科

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること (当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
和歌山医学 58(2):55-59, 2007	若年婦人における骨塩密度に影響を与える 諸因子の検討.	池内佳子、梅咲直彦	産科婦人科
日本受精着床学会誌 24(1):38-42, 2007	Topoisomerase I inhibitor 誘発卵巣顆粒膜 細胞アポトーシスにおける BCL-2 family の 発現.	宇都宮智子、 田中哲二、宇都宮洋 才、梅咲直彦	産科婦人科
日本受精着床学会 誌. 24(1):54-58, 2007	抗癌剤誘発卵巣障害を予防するための GnRHa 療法と GnRHa 感受性の個人差.	田中哲二、宇都宮智 子、南佐和子、八木 重孝、粉川克司、梅 咲直彦、宇都宮洋才	産科婦人科
漢方医学 31(1):15-21, 2007	子宮内膜症に対する桂枝茯苓丸の作用機序 仮説 -血清中に亢進している 抗アポトーシス活性から-	田中哲二	産科婦人科
エンドメトリオーシ ス研究会誌 28: 133-136, 2007	子宮内膜症性嚢胞と他の嚢胞性付属器腫瘍 との鑑別診断における 3次元超音波診断の 有用性.	田中和東、粉川克司、 池島美和、帽子英二、 八木重孝、宇都宮智 子、南佐和子、岩橋 正明、田中哲二、森 脇崇之、小口秀紀、 梅咲直彦	産科婦人科
Clinical & Experimental Obstetrics and Gynaecology 34: 179-181, 2007	Long-term personalized GnRH agonist therapy without estrogen supplementation for recurrent endometriotic catamenial pneumothorax: case report.	Tanaka T	産科婦人科
産婦人科の進歩 59(2): 148-150, 2007	当院における子宮筋腫合併妊娠の検討.	八木重孝、南佐和子、 帽子英二、池島美和、 田中和東、宇都宮智 子、粉川克司、岩橋 正明、田中哲二、梅 咲直彦	産科婦人科

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること（当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る）。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本口腔外科学会 雑誌第54巻第4号 (平成20年)...	下顎第三臼歯時に起こす舌神経損傷 に對して顕微鏡下神経縫合を行つた 3例	根来健二・船山雅治 松本隆司・森田達雄 東山栄格・藤田茂之	歯科口腔外科

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること（当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る）。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本糖友	血糖コントロールの重要性 と血糖管理の	岡田 通 ATP	糖尿病科 内科

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること（当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る）。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Cancer Res 67:3210-3219,2007	MEK inhibition enhances nuclear proapoptotic function of p53 in AML cells.	小島 研介	輸血・血液疾患治療部
Int J Clin Oncol 12:56-58,2007	Follicular dendritic cell tumor as an unknown primary tumor.	小島 研介	輸血・血液疾患治療部
Int J Hematol 86(2):196-198,2007	Molecular cloning of translocation breakpoint from der(8)t(3;8)(q27;q24) defines juxtaposition of downstream of C-MYC and upstream of BCL6.	園木 孝志	集学的治療・緩和ケア部

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること（当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る）。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本救命医療学会 雑誌	Surviving sepsis campaign guidelines and the beyond	中 敏夫	救急集中治療部
Spine	Selective vulnerability to ischemia in spinal cord: a comparison between ventral dorsal horn neurons	Nohda K	救急集中治療部
日本救命医療学会 雑誌	ステロイド治療で救命し得た敗血 ショックに伴う急性副腎不全一例	橋本忠浩	救急集中治療部
ICUとCCU	Non renal indicationの国際的位置	中 敏夫	救急集中治療部
日本アフエーシス 学会雑誌	Super high-flux hemofiltration	中 敏夫	救急集中治療部

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること（当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る）。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。